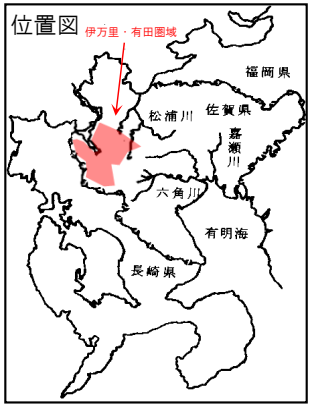
伊万里・有田圏域　二級水系流域治水プロジェクト【イメージ】

～ハード・ソフト一体となった事前防災対策の加速化～

資料4

○ 令和元年佐賀豪雨をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進する。



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

・河道拡幅、河道掘削、護岸整備、橋梁改築、排水機場点検更新　等
・ため池の補強・有効活用
・クリーク等の農業水利施設の整備及び有効活用
・利水ダム等5ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
・森林の整備・保全
・土砂や流木の流出抑制対策（砂防、治山）　等
※今後、関係機関と連携し対策検討

■河川対策
対策内容　　河道掘削、河道拡幅、橋梁改築、排水機場・水門点検更新　等
■砂防対策
対策内容　　砂防関係施設整備

■被害対象を減少させるための対策

・一定規模以上の開発行為には貯留等を義務付け
・立地適正化計画の推進
・不動産取引時の水害リスク情報提供
・排水機場等の耐水化　等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

・早期避難の推進と防災情報伝達手段の強化
・防災意識の向上に向けた、関係機関と連携した防災教育の推進
・防災ハザードマップ・ため池ハザードマップの作成
・簡易水位計、監視カメラの設置・整備
・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成と訓練の促進
・報道機関と連携した情報発信の強化
・水害リスク情報の拡充　　等
※今後、関係機関と連携し対策検討

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。